

はじめに

近年、人口減少や少子高齢化の急速な進展、長引く新型コロナウイルス感染症の影響など、男女共同参画を取り巻く状況は大きく変化しています。

一方で、人々の意識の中に長い時間をかけて形成された固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）など、男女共同参画社会の実現に向けた課題も根強く存在しています。

県では、こうした社会情勢の変化や課題に対応するため、令和3年度からスタートした「第5次千葉県男女共同参画計画」に基づき、市町村や民間団体等との連携・協力の下、ワーク・ライフ・バランスの普及促進、子育て・介護への支援、DV・児童虐待対策、男女共同参画への理解と意識づくりに向けた広報啓発など、様々な施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

こうした取組を今後も着実に推進し、男女共同参画社会を実現していくためには、男女共同参画に関する様々な状況を統計データ等により分かりやすく「見える化」するとともに、行政が取り組む施策について広く県民の皆様にも周知していくことが重要です。

そこで、本県における男女共同参画を取り巻く最新の統計データと令和3年度における男女共同参画施策の推進状況を白書として取りまとめました。

また、「第5次千葉県男女共同参画計画」では、計画に位置付けた31の指標を毎年度、把握・分析するとともに、事業の実施状況等を踏まえ、必要な改善を次の事業に反映させる新たな評価制度を導入したところであり、本白書には、令和4年度に実施した評価結果も掲載しました。

本白書が、皆様にとって、本県における男女共同参画の状況や施策等に対する理解と関心を深めるとともに、家庭や地域、職場、学校など身近なところから取組を進めていただくための一助となれば幸いです。

令和5年1月

千葉県総合企画部長 高橋 俊之

第1部 本県における男女共同参画の現状について、グラフや表を用いて解説しています。

第2部 令和3年度に実施した本県の男女共同参画施策と、第5次千葉県男女共同参画計画の外部評価の結果について、取りまとめています。

第3部 本県の男女共同参画センターの事業について掲載しています。